

授業科目(ナンバリング)	博物館実習 B (CB309)			担当教員	落合 知子		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・通年	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
学芸員の実務技術を学ぶ。博物館実習は、学芸員の心構え及び礼節を身に付け、知識や技術を修得する。この実習で身に付けた知識及び技術を博物館実習 C (館務実習) で活かすことができる。							②⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	学芸員の仕事に関心を持ち、学芸員に求められる技能や知識を修得できる。				授業への参加度	60%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	博物館活動を理解することができる。 学芸員の仕事を理解し、説明できる。				実技テスト	30%	
多様性理解力	資料に関する情報を理解できる。				小テスト	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、授業参加及び態度 60%、実技試験 30%、小テスト 10%を総合して行ない、後日、授業でフィードバックする。</p> <p>15名定員の少人数制の実習であることから、他の受講生と協力して実習に参加することが重要であり、コミュニケーション(協調性)力が求められる。</p> <p>特に資料の取り扱いには集中力と真摯な態度で臨まなければならない。</p>							
授業の概要							
<p>学内実習は前期 15 回、後期 15 回行う。</p> <p>前期は歴史資料の取り扱い方法と作法を修得し、写真撮影や資料調査方法を学ぶ。後期は紙資料の修復技術、ワークショップの指導員としての技術を身に付ける。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『博物館実習教本改訂版』落合知子編 2018</p> <p>参考書：特に指定しない</p> <p>指定図書：『博物館実習教本改訂版』落合知子編 2018</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>博物館実習 B は、学芸員資格を取得する必修科目の中で最も重要な科目である。日頃より博物館を見学し、博物館を身近なものにすることを期待する。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語・携帯電話・飲食及び理由のない遅刻・途中退出は認めない。また、博物館実習費として 10000 円を大学に納入しなければならない。(別途実習教本代 1000 円)</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	博物館実習についての説明。	シラバスの確認。
2	資料の取り扱い①	博物館資料の取扱いの心得・学芸員の心得。	資料取扱いの復習と予習
3	資料の取り扱い②	箱・四方掛け・包み。	四方掛けの復習と予習
4	資料の取り扱い③	掛け軸の説明と取扱い方法。	掛け軸の復習と予習
5	資料の取り扱い④	掛け軸の取扱い。	掛け軸の復習と予習
6	資料の取り扱い⑤	掛け軸・卷子本の取扱い。	卷子本の復習と予習
7	資料の取り扱い⑥	刀剣の説明（銃刀法）。	銃刀法の復習と予習
8	資料の取り扱い⑦	刀剣の手入れ方法。	刀剣の復習と予習
9	資料の取り扱い⑧	刀剣の手入れ方法。	刀剣の復習と予習
10	資料の取り扱い⑨	甲冑の説明。	甲冑の復習と予習
11	資料の取り扱い⑩	甲冑の展示方法。	甲冑展示の復習と予習
12	資料の取り扱い⑪	甲冑の装着方法。	甲冑装着の復習と予習
13	資料の調査法①	資料の調査方法。写真撮影。	資料の調査方法の復習と予習
14	資料の調査法②	パネル製作。	パネル製作の復習と予習
15	総論	資料取り扱いまとめ。	資料の取り扱いの復習と予習
16	拓墨	拓墨製作の説明・採扱説明。	拓墨の復習と予習
17	拓本	採拓。	拓本の予習と復習
18	拓本	採拓。	拓本の復習と装潢の予習
19	正麩糊製作	正麩糊製作。装潢技術の説明。	正麩糊・装潢の復習と復習
20	装潢	紙資料の修理・修復技術。	装潢の復習と復習
21	装潢	紙資料の修理・修復技術。	装潢の復習と復習
22	装潢	紙資料の修理・修復技術。	装潢の復習と予習
23	額装	紙資料の額装。	額装の復習と予習
24	額装	紙資料の額装。	額装の復習と予習
25	和装綴じ	和装綴じ。	和装綴じの復習と予習
26	和装綴じ	和装綴じ。	和装綴じの復習と予習
27	和装綴じ	和装綴じ。	和装綴じの復習と予習
28	和装綴じ	和装綴じ。	展示の復習と予習
29	レプリカ製作	封入標本。	レプリカ製作の復習と予習
30	資料取り扱い総論	掛け軸・卷子本・刀剣・甲冑取扱い総復習。	資料取り扱いの復習

授業科目(ナンバリング)	博物館実習 B (CB309)			担当教員	小泉 優莉菜		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・通年	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
学芸員の実務技術を学ぶ。博物館実習は、学芸員の心構え及び礼節を身に付け、知識や技術を修得する。この実習で身に付けた知識及び技術を博物館実習 C (館務実習) で活かすことができる。							②⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	学芸員の仕事に関心を持ち、学芸員に求められる技能や知識を修得できる。				授業への参加度	60%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	博物館活動を理解することができる。 学芸員の仕事を理解し、説明できる。				実技テスト	30%	
多様性理解力	資料に関する情報を理解できる。				小テスト	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、授業参加及び態度 60%、実技試験 30%、小テスト 10%を総合して行ない、後日、授業でフィードバックする。</p> <p>15名定員の少人数制の実習であることから、他の受講生と協力して実習に参加することが重要であり、コミュニケーション(協調性)力が求められる。</p> <p>特に資料の取り扱いには集中力と真摯な態度で臨まなければならない。</p>							
授業の概要							
<p>学内実習は前期 15 回、後期 15 回行う。</p> <p>前期は歴史資料の取り扱い方法と作法を修得し、写真撮影や資料調査方法を学ぶ。後期は紙資料の修復技術、ワークショップの指導員としての技術を身に付ける。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『博物館実習教本改訂版』落合知子編 2018</p> <p>参考書：特に指定しない</p> <p>指定図書：『博物館実習教本改訂版』落合知子編 2018</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>博物館実習 B は、学芸員資格を取得する必修科目の中で最も重要な科目である。日頃より博物館を見学し、博物館を身近なものにすることを期待する。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語・携帯電話・飲食及び理由のない遅刻・途中退出は認めない。また、博物館実習費として 10000 円を大学に納入しなければならない。(別途実習教本代 1000 円)</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	博物館実習についての説明。	シラバスの確認。
2	資料の取り扱い①	博物館資料の取扱いの心得・学芸員の心得。	資料取扱いの復習と予習
3	資料の取り扱い②	箱・四方掛け・包み。	四方掛けの復習と予習
4	資料の取り扱い③	掛け軸の説明と取扱い方法。	掛け軸の復習と予習
5	資料の取り扱い④	掛け軸の取扱い。	掛け軸の復習と予習
6	資料の取り扱い⑤	掛け軸・卷子本の取扱い。	卷子本の復習と予習
7	資料の取り扱い⑥	刀剣・甲冑の取り扱い説明（銃刀法）。	銃刀法の復習と予習
8	資料の取り扱い⑦	刀剣・甲冑の手入れ方法。	刀剣・甲冑の復習と予習
9	資料の取り扱い⑧	刀剣・甲冑の手入れ方法。	刀剣・甲冑の復習と予習
10	資料の調査法①	資料の調査方法。資料の写真撮影。	資料の調査方法の復習と予習
11	資料の調査法②	資料説明の原稿執筆	資料の調べ学習
12	資料の調査法③	資料説明の原稿執筆	資料の調べ学習
13	資料の公開法①	パネル製作。	パネル製作の復習と予習
14	資料の公開法②	パネル製作。	パネル製作の復習と予習
15	総論	資料取り扱いまとめ。	資料の取り扱いの復習と予習
16	拓墨	拓墨製作の説明・採扱説明。	拓墨の復習と予習
17	拓本	採拓。	拓本の予習と復習
18	拓本	採拓。	拓本の復習と装潢の予習
19	正麩糊製作	正麩糊製作。装潢技術の説明。	正麩糊・装潢の復習と復習
20	装潢	紙資料の修理・修復技術。	装潢の復習と復習
21	額装	紙資料の額装。	額装の復習と予習
22	展示会計画法①	趣旨説明・ハウステンボス内写真撮影	写真撮影の予習・復習
23	展示会計画法②	写真パネル制作	パネル製作の予習・復習
24	勾玉制作①	趣旨説明・勾玉制作	勾玉制作の予習・復習
25	勾玉制作②	勾玉制作	勾玉制作の予習・復習
26	勾玉制作③	ワークショップの企画・立案方法	ワークシートの作成
27	和装綴じ	和装綴じ。	和装綴じの復習と予習
28	和装綴じ	和装綴じ。	展示の復習と予習
29	レプリカ製作	封入標本。	レプリカ製作の復習と予習
30	資料取り扱い総論	総論	資料取り扱いの復習